

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター  
2020年度事業報告書

(第18期：2020年6月1日より2021年5月31日まで)

## <目次>

- 2020年度事業の方針
- 2020年度所信

### I 全体の概要

### II 運営について

1. 諸会議の開催状況（\*詳細は資料1 諸会議の開催状況を参照）
2. 財政の状況について（\*詳細は資料2 決算書を参照）
3. 事業・会務・事務局等の運営全般について（\*詳細は資料3 定款、資料4 諸規定を参照）
4. 資産の取得、機器の更新等について

### III 個別に行った事業について

#### 1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

- (1) まちのさまざまな課題の調査研究事業
- (2) その解決のための事業

##### 1-(1)-1 地域課題の発見と解決を意識した各種団体・講座等への参加

##### 1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画

##### 1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携

##### 1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

#### 2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- (3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- (4) その市民活動への応援事業

##### 2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査

##### 2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

##### 2-(4)-1 桑名市市民活動センター管理運営業務受託

##### 2-(4)-2 「桑員まちのファンクラブ」への支援

##### 2-(4)-3 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援

##### 2-(4)-4 各種講座への講師派遣

##### 2-(4)-5 前掲以外の市民活動への支援

##### 2-(4)-6 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営と助成

#### 3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

- (5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業
- (6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

##### 3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信

##### 3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

## ■ 2020年度事業の方針

- (方針1)「市民活動を支援する事業を行う」
- (方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」
- (方針3)「市民活動支援のしくみづくりを行う」
- (方針4)「低コストで運営を行う」
- (方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」

## ■ 2020年度所信

新型コロナウイルスの影響により、人との交流が大きな部分を占める市民活動は大きく制限を受けています。新しい生活様式の中で、今後、活動方法が大きく変化を求められる中で、どのように変化したらいいかまだまだ暗中模索の段階と言えます。その中でも大切にしていかなければならない本質的なことは何か、そして変化していく先に何かがあるのか、この地域を支える市民活動団体で議論を重ねる場が必要であると考えます。

また、そんな中でも「個人の自由な社会貢献活動」が「多様」に「持続的」に行われ、さまざまな主体と結びついて活動していくことで、更なる非営利経済の「資金・資源」の循環を生みだし、「新たな可能性」をひらき、「新しい価値の創造」へと展開していくことが想像できます。

私たちは、これまで取り組んできた「市民活動の応援」を進め、「市民活動応援☆きらきら基金」をより充実させていくことで、市民活動団体間の「資金・資源」の循環を増やし、企業や他地域からの新たな資源の流入をつくりだしていきたいと思えます。これらの取り組みにより、「新たな可能性」「新たな価値観」「新たなサービス」が生み出され、この地域での人々の生活がより魅力的になることを願っています。

つきましては、皆様の一層のご理解、ご参画、ご協力を心よりお願い申し上げます。

## 2020年度事業計画書

前述の事業の方針ならびに所信にもとづき、以下のように事業を進めていきます。

### 1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

- －(1) まちのさまざまな課題の調査研究事業
- －(2) その解決のための事業

- 1-(1)-1 地域課題の発見と解決を意識した各種団体・講座等への参加
- 1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画
- 1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携
- 1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

### 2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- －(3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- －(4) その市民活動への応援事業

- 2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査
- 2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加
- 2-(4)-1 桑名市市民活動センターの管理運営業務受託
- 2-(4)-2 「桑員まちのファンクラブ」への支援
- 2-(4)-3 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援
- 2-(4)-4 各種講座への講師派遣
- 2-(4)-5 前掲以外の市民活動への支援
- 2-(4)-6 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営と助成

### 3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

- －(5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業
- －(6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

- 3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信
- 3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

## I 全体の概要

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センターは、平成16年4月法人登記をして設立しました。決算期の関係で第1期は2ヶ月であり、今期（第18期）は実質的にまる17年が終了する時期になります。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が解除されては、数か月後にまた発動されることの繰り返しでした。市民活動団体も、会議や、活動をオンラインに切り替えたり、感染対策をおこない少人数での開催にしたりと対応をしながらなんとか活動を続けてきました。ただ、ITが苦手な世代や、不特定多数が集まることはできず、活動を休止する団体も出てきました。また、コロナ対策により経費がかかり財源不足に悩むNPOも出てきました。

そんな中、休眠預金の新型コロナウイルス対応の緊急支援助成枠が設けられ、当会も資金分配団体に手を上げましたが、残念ながら採択には至りませんでした。また、三重県NPO班がコロナ対策事業を打ち出し、みえNPOネットワークセンターが受託し、幹事団体である当会も協力し、コロナ対策事業を行いました。

コロナ禍の中で、3月に開催した、「市民活動応援☆きらきら基金」は、会場参加とオンライン参加というハイブリッド形式で開催し、どんな状況でも工夫次第で開催できるということを実感できました。

さて、当期の当会の事業の方針は、(方針1)「市民活動を支援する事業を行う」、(方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」、(方針3)「市民活動支援のしくみづくりを行う」、(方針4)「低コストで運営を行う」、(方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」というものでした。

まず(方針1)「市民活動を支援する事業を行う」については、桑名市市民活動センターの管理運営業務を受託し、団体への具体的な支援、助言などを行い、市民活動についての情報の提供を継続的に行いました。さらに、みえNPOネットワークセンターが三重県から受託した新型コロナ対策事業に協力し、市民活動団体へのサポートを積極的に行いました。

(方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」については、三重NPOグランプリへの提案を4回のオンライン会議を開いて作成し、当日提案発表ができました。また、きらきら基金助成事業において、高校生の地域貢献活動への助成も、引続き継続して行いました。

(方針3)「市民活動支援のしくみづくりを行う」では、みえNPOネットワークセンターの経営会議に近藤理事が参画しました。みえきた市民活動センターとしては、域内の団体と協働してきらきら基金をオンライン開催し、8団体2事業2高校に260,000円を助成しました。並行して、地域の市民活動団体訪問調査、まちのかわらばんの発行を行いました。

(方針4)「低コストで運営を行う」では、寄附金と、桑名市市民活動センター運営支援業務、及び、みえNPOネットワークセンター関連事業収入などで726万円ほどの収入があり、支出は734万円ほどでした。認定NPO法人の見なし寄附で所得税が控除され、地方税を引いて、15万円ほどの赤字となりました。収入のうち、助成の原資と運営に用途限定している寄附金を70万円ほど繰り越しました。

(方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」については、43個のカエル・こぶたの募金箱を、個人や市民活動団体関係者、企業や商店、桑名商工会議所女性部の皆さんなどにご協力いただき、期中に33口18万円を越える助成原資へのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

これらの取り組みについては、会員間の連絡を密にし、さまざま検討を行った上で、実施しました。

## II 運営について

### 1. 諸会議の開催状況（\*詳細は資料1 諸会議の開催状況を参照）

今年度、総会は1回（2020年7月28日）開催し、理事会は9回（2020年6月11日、7月14日、7月28日、9月23日、11月25日、12月23日、2021年2月9日、3月22日、5月21日）開催しました。その他に必要なに応じて個別の会議を開催し、11回にわたって行ったきらきら基金運営委員会や役員（理事・監事）メーリングリストなどを有効に活用して頻繁に「相談・提案・報告・了承」を行い、当会の全体状況の把握や進んでいる方向の確認、個別の事業のスタンスなどの情報を共有しました。（役員メーリングリストでのやりとりは期中に300本ほどでした。）

### 2. 財政の状況について（\*詳細は資料2 決算書を参照）

今期は、726万円ほどの収入があり、734万円ほどの支出がありました。このうち、寄附金収入が18万円強ありました。また、認定NPO法人であるため、収益事業の19万円強の課税事業所得を、見なし寄附金として非課税事業に繰り入れることができました。最終的に156万円強の次年度繰越金（使途限定寄附金を含む）を生むことが出来ました。前期末の正味資産額172万円ほどに、今期の減少額15万円を引いて、今期末の正味財産額は156万円となりました。そのうち、助成の原資と運営に使途限定している寄附金は70万円強あり、一般正味財産は85万円です。

経常収益では、非課税部門では、基本となる会費が9名で1.8万円、きらきら基金関連事業への寄付が21万円、そのうちきらきら基金助成原資への寄附が18万円、まちの課題の解決のための事業などへの一般寄附が3.4万円でした。また課税部門では、みえNPOネットワークセンター参画支援事業が56.3万円、桑名市市民活動センター管理運営受託事業が646万円でした。

経常費用では、経費的支出が734万円でした。非課税部門の支出は、きらきら基金の運営費が18.9万円と18.9万円の赤字、助成金支出が26万円と7.9万円の赤字、その他の事業が2.1万円の赤字で、非課税部門合計で29万円の赤字となりました。課税部門では、桑名市市民活動センター管理運営受託事業が635万円の支出で10万円の黒字でした。その他事業で8.3万円ほどの収益があり、19万円ほどの黒字となり、みなし寄附制度により全額非課税となりました。

### 3. 事業・会務・事務局等の運営全般について（\*詳細は資料3 定款、資料4 諸規定を参照）

さまざまな事業を同時並行的かつ継続して行ったため、会務の役割分担は半数以上の理事がフルにうごきましたが、ITを活用してこまめに情報を共有することでお互いにカバーすることができました。

一連の事業について、きらきら基金事業の市民活動団体取材と助成事業、まちのかわらばんなどにおいて、理事たちの大きな負担となりました。また「桑名市市民活動センター管理運営受託事業」「みえNPOネットワークセンターへの支援」についても、負担が少数の理事に集中しました。

### 4. 資産の取得、機器の更新等について

基本的に資産はありません。また、今期の資産の取得、機器の更新等もありません。具体的な資産の取得や機器の更新などに関する特記すべき事項はありませんでした。

### Ⅲ 個別に行った事業について

#### 1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

- －(1) まちのさまざまな課題の調査研究事業
- －(2) その解決のための事業

- 1-(1)-1 地域課題の発見と解決を意識した研究会、講座等への参加
- 1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画
- 1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携
- 1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

#### 1-(1)-1 地域課題の発見と解決を意識した研究会、講座等への参加

桑名員弁地域の市民活動団体が元気で活躍できるよう、市民活動支援全体の課題解決に向かって、各種の講座や研究会に参加し、必要な情報の収集をしました。

具体的には、2020年10月20日グレードアップセミナー第1回「今この時に、中間支援組織は社会をどう変えるのか」(みえNPOネットワークセンター主催)、2021年2月11日協創シンポジウム2020～コロナ禍におけるNPO～新しい生活様式を協創する～(みえNPOネットワークセンター主催)、3月2日グレードアップセミナー第2回「災害が起きたら…中間支援組織はどう動くか」(みえNPOネットワークセンター主催)、

#### 1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画

2020年6月18日～9月17日及び継続で2021年3月6日までの期間、「NPOの組織維持、活動再開に向けたNPO支援業務」として、①NPOの組織維持と活動再開へ向けた相談事業 ②IT活用の関する講座の実施の事業をみえNPOネットワークセンターが県から受託し、県内6カ所での実施のうちの1ヶ所、桑員地域を担当しました。

#### 1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携

上記「NPOの組織維持、活動再開に向けたNPO支援業務」を実施するにあたり、桑名市、いなべ市、東員町の市民活動センターと連携して実施しました。

また、2016年度から毎年持ち回りで開催してきた「桑員地域市民活動センター情報交換会」は、2020年度は東員町が担当して、12月14日に開催され出席しました。

#### 1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

今年度は第13回助成事業をオンライン開催とし時間を短縮したため、企業の社会貢献アピールは無く、その代わりにこれまで参加いただいた企業のスライドショーを上映いたしました。

6月初めに発行した、まちのかわらばん2021年春特大号で、29企業・経済団体の社会貢献活動の取り組みを掲載し、市民活動団体と併せて紹介することができました。

## 2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- －(3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- －(4) その市民活動への応援事業

- 2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査
- 2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加
- 2-(4)-1 桑名市市民活動センター管理運営業務受託
- 2-(4)-2 「桑員まちのファンクラブ」への支援
- 2-(4)-3 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援
- 2-(4)-4 各種講座への講師派遣
- 2-(4)-5 前掲以外の市民活動への支援
- 2-(4)-6 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営と助成

### 2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査

今シーズンは、2020年6月より2021年3月までの間に、新たに6団体の訪問取材を行いました、活動休止の団体もあり、ホームページでの紹介は139団体になりました。代表の交代など、随時情報については更新してお知らせします。

### 2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

桑名員弁地域の市民活動交流会に関しては、コロナの影響で活動アピールの場である、スマイルフェスタ（いなべ市市民活動センター）、わくわくフェスタ（とういん市民活動支援センター）は中止となりました。桑名市市民活動センターにおいては、動画作成講座と上映会という形で開催されました。（詳細は、2-(4)-1 桑名市市民活動センター管理運営業務受託に記載）

### 2-(4)-1 桑名市市民活動センター管理運営業務受託

6月から「桑名市市民活動センター管理運営業務」を受託し、市民活動団体への支援を行いました。

具体的には、桑名市市民活動センターの印刷機使用収納業務などのセンターの機能に関する管理運営業務を行うと共に、登録団体代表者会議を毎月一回開催し、必要な議事や意思決定を行う他、団体間のコミュニケーションを円滑にし、お互いの持つ問題意識や解決手段、ネットワークの相互の有効活用に必要な信頼関係を培うため、また、新たな団体の参加を呼びかけるため、30分程度のミニワークショップを行いました。

コロナ感染症による活動自粛に追い込まれた登録団体への支援として、相談業務、分野別交流会、講習会などを多数開催しました。業務の一部を、桑名市のみならず、いなべ市、東員町など、広域に渡って、専門性の高い方々に担って頂く事で、桑名市の市民活動団体の支援に資することが出来ました。

市民活動団体の活動内容に関する積極的な情報発信として、情報誌「NPO活動 news」5回（6月、8月、10月、12月、2月）発行し、地域の商店街での掲示、配布も行いました。またホームページの全面リニューアルを行いました。

30年度に作成した団体の活動紹介冊子に新たに情報をいただいた団体を加え発行しました。



研修会・講座の企画・実施では、職員研修（新規採用職員対象）を10月19日に「私たちが課題解決の主人公 一人ひとりが課題解決の主体者になる協働」を講義とワークショップ形式での講座を実施しました。また、職員研修（全職員対象）を12月4日午前の1回、～「新・市民活動センター」業務委託して～をテーマに実施しました。

桑名市市民活動センターの管理運営業務の詳細な報告は、別紙「市民活動センター利用状況等の年度比較」および「令和2年度運営事業一覧」を参照してください。

#### 2-(4)-2 「桑員まちのファンクラブ」への支援

2003年4月の団体設立時から引き受けている同団体の事務局ですが、今期で18期がすぎました。コロナの影響で延期した総会を開催予定でしたが、結局コロナの影響が継続したため2年続けて開催を断念しました。

#### 2-(4)-3 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援

三重県内各地で活動する11中間支援団体が会員となって2012年10月に設立登記した、特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンターは、2012年4月より三重県が設置する「みえ市民活動ボランティアセンター」の指定管理を受け、三重県内の市民活動の活動基盤を整えるための活動をしています。当会も、設立時からの会員としてその活動に参画し、活動を支えてきました。

通期で理事会对応・経営会議などの業務対応をした他、講座等への参加、事業への参画も行いました。1-(2)-1で記した「NPOの組織維持、活動再開に向けたNPO支援業務」のこの地域での実施や、第4回三重NPOグランプリの事業に積極的に参画しました。

#### 2-(4)-4 各種講座への講師派遣

まちづくり協議会へのワークショップ講師派遣を行う予定でしたが、コロナの影響で相談のみとなりました。

#### 2-(4)-5 前掲以外の市民活動への支援

2020年8月、新型コロナウイルスにより活動自粛に追い込まれるNPO・ボランティア団体が相次ぐ中、感染予防対策に試行錯誤しながらも活動を続けようとしている団体を応援したいと考え「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」に資金分配団体として応募しましたが、残念ながら採択されませんでした。

#### 2-(4)-6 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営

桑名員弁地域で活躍する身近な市民活動を応援するため、きらきら基金プロジェクトを推進しました。原則月に1回の運営委員会をまた、ワーキンググループ会議などを開催しました。これらをベースに、2020年12月13日に桑名市寺町商店街においてサンタの行進開催、そして、2021年3月6日にくわなメディアライブで第13回の助成事業を桑名、いなべ、東員の3会場とオンライン参加を繋いで開催しました。64名が参加し、8団体2事業2高校に260,000円を助成しました。（1-(2)-3参照）

今期はカエル・こぶた募金箱を 43 個設置いただきました。33 口 186,150 円のご寄附をいただき、前期繰越「使途限定寄附金」とあわせて、260,000 円を助成しました。また、まちのかわらばんを 4 回発行しました（3-(6)-1 で詳述）。これらに伴い団体訪問取材を行いホームページの団体情報を更新し、プロジェクト全体の概要報告書とかねて「まちのかわらばん 2021 年春特大号」1500 部を発行しました。

このプロジェクトの実施体制は、当会が設置した「きらきら基金運営委員会」が主催し、特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター、特定非営利活動法人 いなべこども活動支援センター、特定非営利活動法人 生ごみリサイクル思考の会が協働する形で共催しました。後援は、三重県、桑名市、いなべ市、東員町、木曾岬町、桑名市社会福祉協議会、いなべ市社会福祉協議会、東員町社会福祉協議会、木曾岬町社会福祉協議会、桑名商工会議所、桑名三川商工会、まちのファンクラブ。助成原資は皆様からのご寄附を充てさせていただきました。

### 3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

- －(5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業
- －(6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

#### 3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信

#### 3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

#### 3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信

#### ★「まちのかわらばん」

2020 年 8 月より 2021 年 6 月まで年 4 回の発行、かわらばん (A4 版 4 ページ：白黒)と特大号(A4 版 32 ページ：カラー)を発行・配布・配信しました。発行部数はのべ 6000 部ほどになりました。

☆2021 年 6 月号：1500 部発行

まちのかわらばん 2021 年春特大号

「139 団体の紹介・29 企業の社会貢献紹介」

☆2021 年 4 月 20 日号(113 号)：1500 部発行

「第 13 回市民活動応援☆きらきら基金」の報告、他

☆2020 年 11 月 25 日号 (112 号)：1500 部発行

「きらきら基金第 1 3 回助成事業助成団体募集、WG 報告、桑員子どもと女性の安心ネットワーク」

☆2020 年 8 月 11 日号 (111 号)：1500 部発行

「コロナ禍での「市民活動応援☆きらきら基金」のあり方、休眠預金の『新型コロナウイルス対応緊急支援助成』、助成金情報」

#### 3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

小規模の市民活動団体にとっては、たくさんの人たちに自分たちの活動を伝え、情報を共有し、サービスのご案内などを行うのに、インターネットメディアの活用ははずせません。当会ではさまざまなメーリングリストやブログを活用しました。

★みえきた市民活動センターホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

★日本財団 CANPAN ブログの「みえきたページ」 <http://blog.canpan.info/miekita/>

★日本財団 CANPAN ブログの「きらきらページ」 <http://blog.canpan.info/kirakiraboshi/>